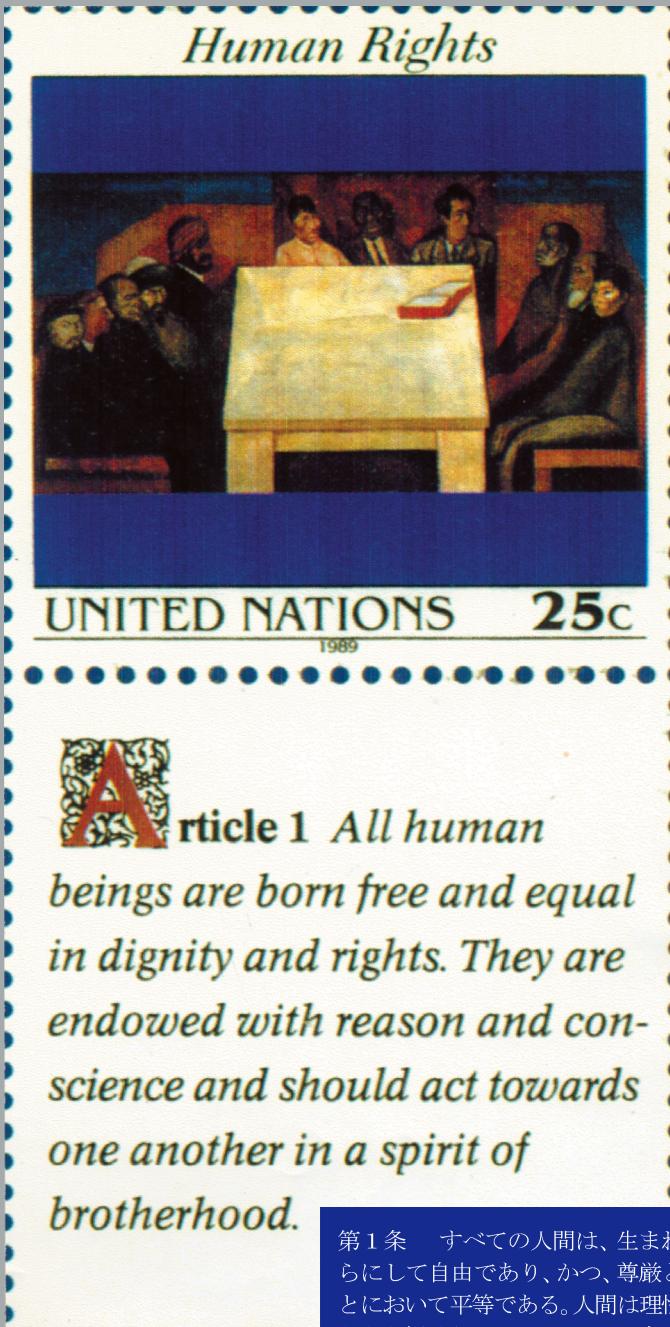




UNIC Tokyo Dateline UN

December 2002 Vol.37

国際連合広報センター



Article 1 *All human beings are born free and equal in dignity and rights. They are endowed with reason and conscience and should act towards one another in a spirit of brotherhood.*

第1条　すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とにおいて平等である。人間は理性と良心とを授けられており、互いに友愛の精神をもって行動しなければならない。

Artist: Jose Clemente Orozco
ホセ・クレメンテ・オロスコ

切手でつづる世界人権宣言

東京・渋谷のUNギャラリーは「世界百名山・国連切手」展の期間中、12月10日の人権デー(Human Rights Day)を記念して、「切手でつづる世界人権宣言」を特別展示しました。

国連総会は1948年12月10日、20世紀における人権法の最初の支柱石となった世界人権宣言を「すべての人民にとって達成すべき共通の基準」として採択しました。宣言の30条は、すべての国のすべての人間が享受すべき基本的な市民的、文化的、経済的、政治的および社会的権利を規定しています。

国連郵政部は著名なアーティストの作品をモチーフにして「世界人権宣言シリーズ」を作り、1989年から1993年にわたって発行しました。

INSIDE

- | | |
|---|-----|
| 切手でつづる世界人権宣言 | 2-3 |
| 人権デーに寄せる
アン国連事務総長メッセージ | 3 |
| Working at UNIC
国連広報センターでインターンとして
働いて | 4-5 |
| 国際ボランティア・デーに寄せる
アン国連事務総長メッセージ | 4-5 |
| UNドキュメンテーション・サービス
～上手な利用法、すべてお教えします～ | 6-7 |

<http://www.unic.or.jp/>

切手でつづる 世界人権宣言

国連郵政部の発行した国連切手の「世界人権宣言シリーズ」は、世界的なアーティストの代表的作品をモチーフとしています。今回ご紹介する7つの作品以外にも、ヴァシリー・カンディンスキー、アルブレヒト・デューラー、パウル・クレー、ヘンリー・ムーアなど著名アーティストによる個性豊かな絵画や造形品が並び、全30条の「世界人権宣言」に彩りを添えています。



世界人権宣言のロゴマーク

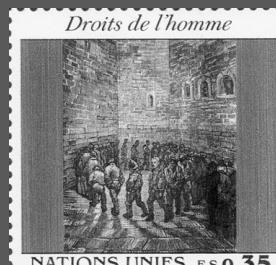


第6条

すべての者は、いかなる場所においても、法の前に人として認められる権利を有する。

Artist: Raphael
ラファエロ

Article 6 Everyone has the right to recognition everywhere as a person before the law.



第9条

何人も、恣意的に逮捕され、抑留され又は追放されない。

Artist: Vincent van Gogh
フィンセント・ファン・ゴッホ

Article 9 No one shall be subjected to arbitrary arrest, detention or exile.

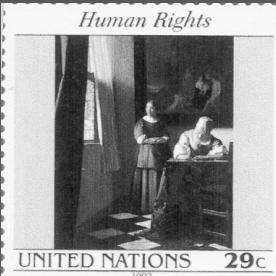


第12条

何人も、その私生活、家族、住居若しくは通信に対して、恣意的に干渉され、又は名誉及び信用を攻撃されない。すべての者は、このような干渉又は攻撃に対する法の保護を受ける権利を有する。

Artist: Suzuki Harunobu
鈴木春信

Article 12 No one shall be subjected to arbitrary interference with his privacy, family, home or correspondence, nor to attacks upon his honour and reputation. Everyone has the right to the protection of the law against such interference or attacks.



第19条

すべての者は、意見及び表現の自由についての権利を有する。この権利には、干渉されることなく意見をもつ自由並びに、あらゆる方法により、国境とのかかわりなく、情報及び考えを求め、受け及び伝える自由を含む。

Artist: Vermeer
フェルメール

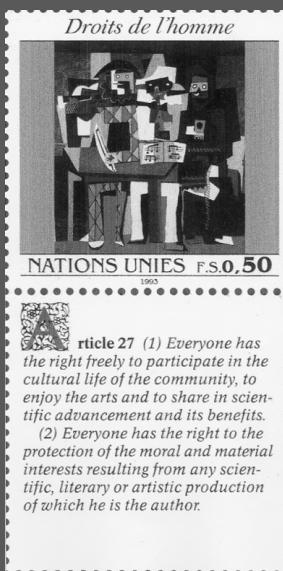
Article 19 Everyone has the right to freedom of opinion and expression; this right includes freedom to hold opinions without interference and to seek, receive and impart information and ideas through any media and regardless of frontiers.



第24条

すべての者は、休息及び余暇、特に労働時間の合理的な制限及び定期的な有給休暇についての権利を有する。

Artist: Georges Seurat
ジョルジュ・スラー



第27条

1) すべての者は、自由に社会の文化的な生活に参加し、芸術を享受し、並びに科学の進歩及びその利益を享受する権利を有する。

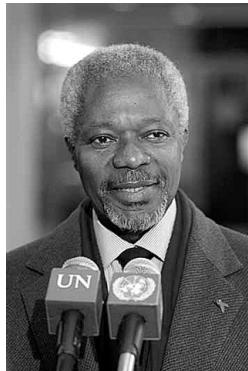
2) すべての者は、自己の科学的、文学的又は芸術的作品により生ずる精神的及び物質的利益の保護についての権利を有する。

Artist: Pablo Picasso
パブロ・ピカソ

2002年・人権デー（12月10日）に寄せて

コフィー・アナン国連事務総長

歴史上で今日ほど、国際関係の激動が感じられる時代はほとんどありませんでした。それは、国家間の関係についても、民族間の関係についても言えることです。グローバル化、国際テロリズムの恐怖、そして、人権の普遍性に対する認識の高まりはすべて、この激動の一翼を担っています。これを乗り切るためにには、新たな均衡状態をもたらす助けとなりうるビジョンが必要です。このビジョンは、人権を尊重し、テロリズムの脅威に対抗し、これまで以上に多国間協力の資源と正当性に依拠するものでなければなりません。私たちはこのために、複雑な挑戦に立ち向かわなければなりませんが、その際には何よりも増して、一つの明確な原則を指針としなければなりません。国際的な法の支配の尊重がそれに当たります。



遇、および、基本的な安全に対する攻撃から個人を守る役割を果たします。

これらの法が尊重されないことがあまりにも多くなっています。国内法が覆され、基本的人権や市民的自由の侵害に見せかけの正当性が与えられることがあまりにも多いのです。

それでも、法の支配の力は、その普遍的な妥当性と適用、すなわち、あらゆる人々の基本的人権を基盤とすることにあります。法は強者にも弱者にも、平等に適用されます。法の支配の適用は大国、小国を問わず、国家の責務です。それは、犯罪やテロリズムと闘うための効果的な道具であると同時に、私たち全員にとっての安全、安全保障および自由をもっともよく保証するものでもあります。

今年の「人権デー」にあたり、私はすべての政府、コミュニティおよび個人に対し、法の支配の普遍的適用への誓いを新たにするよう呼びかけます。この貴重な遺産を当然のものとして軽視しないようにしましょう。そして、これを培い、発展させ、強化ていきましょう。きょうのこの日を機会に、この任務の達成を新たに決意しようではありませんか。

できるまでやってみようという気持ち

UNICインターン・永井 基子

UNICでインターンとして働き始めてから早3カ月がたちます。国際機関の最高峰である国連でインターンをするにあたり、果たして自分に務まるのだろうかと、一抹の不安を覚えたことを思い出します。

UNICでの基本的な仕事は、電話の対応、新聞記事・書類・書架の整理などで、一日が過ぎていきます。インターンを始めたばかりの頃は、国連での基礎知識や専門用語がわからず、また今年の6月にアメリカの大学を卒業し、自分の英語力にはある程度の自信を持っていたものの、時事英語についての知識のなさに落胆したものです。

わからないことだらけの不安と緊張で一日一日があつという間に終わり、何て一日が早いのだろうと感じていました。わからない、できないことが多くて途中で逃げたくなったこともあります。しかし、元来の性格の表れなのでしょうか、できないのであるならできるまでやってみようという頑固さ、また新しいものへの好奇心が自分を変えました。苦手だった電話の対応も少しずつ慣れ、わからないことがあればあらゆる方法で調べる、そのような毎日の繰り返しで日々が過ぎていきました。

まだまだ未熟な部分は沢山あります。しかしこのインターンをすることによって自分自身が大きく変わったと思います。学生時代を終え、まったく違う環境に飛び込んでいく中で、自分に欠けているもの、もっと伸ばせるものなどが見えてきたと思います。違う環境に適応していく術、異世代とのコミュニケーション能力、また自分自身の能力を高めていく方法を見つけた気がします。

UNICでの毎日は私にとって自分自身を見つめ直す良い機会だと思っています。

国際ボランティア・デーに寄せる コフィー・ナン国連事務総長メッセージ

ボランティア主義は、過去数年間にわたり、様々な力を統合する上ではますますその効力を發揮しています。開発事業のプロセスにおいて、あらゆる分野でボランティアが重要な役割を果たしています。ボランティア活動は、特に高齢者や障害者など、最も弱く疎外された人々の社

Working

国連広報センター（United Nations Information Centre）ボランティアやインターンの方々に日常業務をお手伝いいただき、学生、大学院生をはじめ、長期休暇を利用して日本にいらっしゃいます。

12月5日の「国際ボランティア・デー」にあたり、3人の方々に感想をうかがってみました。

はい、国連広報センターでございます

UNICインターン・福田 敦子

私がUNICでインターンを始めてまもなく2カ月になります。これは私の東京生活が2カ月になろうとしているともいえます。

私は現在、熊本県立大学4年生で、東京の親戚の家にお世話になりながら、毎日UNICに通っています。ここで一緒にインターンしている人たちや職員の方から刺激をたくさん受け、熊本では出会うことがなかった人たちとの出会いに感謝しています。

昨年末、パソコンで【国連】と検索すると、ここUNICのホームページが出てきました。これが、インターンに応募するきっかけです。遠方だから無理かもしれない、でも挑戦してみようと思い、履歴書を書きました。私は国連のことについて漠然とした知識しか持っておらず、だからこそ、もっと知るためにインターンとして働いて

会参加を助ける貴重な手段を提供しています。そして国際ボランティア年（2001年）の成果として、ボランティアは自分たちのネットワークを拡大し、互いに学び合い、助け合う能力を強化しています。

国際ボランティア・デーは、世界中にボランティア主義の印象を高めることに成功しました。120以上の国内委員会が設立され、さらに地方や地域でも委員会が数多く作られました。公式ウェブサイトには約900万件ものアクセスがあ

“On this
national Volu
I encourag
to join to
volunteers
of human
and welll

at UNIC

Centre = UNIC) では、さまざまな経歴を持つボラ
いいただいている。日本国内の大学に通う大学
へ帰国中の留学生など、大勢の皆さんのご協力を
り、現在インターンとしてUNICを支えてくださっ

とても刺激的でアクティブな日々

UNIC インターン・加藤 佐知子

みたいと思ったのです。

「はい、国連広報センターでございます」と始まる電話の対応が、私たちインターンの仕事の1つです。「〇〇さんいらっしゃいますか?」「現在の国連加盟国数は? 最近、国連に加盟した国は?」「総会決議の〇〇を見たいのですが、どうしたらよいですか?」などなど、本当にさまざまな問い合わせがあります。ホームページを検索したり、国連関連の書籍を調べてお答えしているのですが、わからないこともたくさんあり、そういう時は職員の方にお願いしています。職員の方は頭の中にたくさんの知識・情報を蓄積されていて、どんな問い合わせにもスラスラと答えていて尊敬するばかりです。

最初の頃、電話の応対は苦手でした。緊張とわからないことだらけで戸惑っていたからです。でも今は、「現在の国連加盟国数は191カ国、最新の加盟国は東ティモールで、2002年9月27日に加盟しました」と答えることができます。これからもさまざまなことを学び、吸収して熊本に帰り、大学を卒業したいと思っています。

*Internal
Volunteer Day,
bring everyone
together as
one in support
of progress
and well-being."*

りました。そしてボランティアの貢献度を測るため、次のような重要な措置が取られました。ボランティア活動に関する法的枠組みの制定、ボランティア活動を支援するためのインフラ整備、各国政府、国連システム、市民社会、民間企業、メディア等々の間ににおける効率のよいパートナーシップの設立などです。

国際ボランティア年の成果として、社会に利益を、ボランティア個人に真の達成感をもたらすような活動に、数多くの市民が参加したいと

米国生活から一転し日本に帰国してから半年と言うものの、毎日がまさに日々刻々と過ぎていきます。そんな中で、今の自分自身が何かこれからの方針を見出すきっかけとして出来ることはないのだろうかと思った時に、UNICにおけるインターンという環境を見つけ、選択したの覚えています。

私は、米国にある在外公館でいろいろな経験をしていたので、国際的な環境には以前から興味があり、また広報ということで、以前と仕事の内容が重なる分野でもあつたので、このような機会を得られ、大変嬉しく思っています。

UNICでは、新聞の重要記事、国連に関する資料翻訳などのチェック、それから国連機関などの問い合わせに対する電話応対、インターネット・サーチ、さらにUNギャラリー関連の補助など、主に国連に関わる情報等の提供をしています。

UNICでの仕事は、私にとって新しく携わる事もいくつかあり、とても刺激的でアクティブな日々を送ることができるとともに、国連機関の重要な役割とはどうあるべきかなど、多くの仕事を通じて常に考えさせられます。

今後、自分が成長していく上で、こうした多くの貴重な経験が生かせる方向につながることを望みつつ、インターンの仕事を続けていきたいと思っています。

UNICでのボランティア、インターンシップ
に関する情報は <http://www.unic.or.jp/fwork/volun.htm> へ
アクセスしてください

望み、またそれが可能である世の中となるよう、グローバル・コミュニティが最大限の努力をしてくれることを期待します。ミレニアム宣言で掲げられた目標を達成するために、ボランティアの力は欠かすことができません。国際ボランティア・デーを迎えた今日、人類の進歩と幸福を支えるボランティア活動に、皆で参加しようではありませんか。

UN ドキュメンテーション・サービス

～上手な利用法、すべてお教えします～

さらに詳しい情報は

<http://www.unic.or.jp/centre/refer.htm>



2002年4月、国連広報センターは所蔵の国連文書や刊行物を国連大学ライブラリー（UNハウス2階）と統合し、同ライブラリー内にUNドキュメンテーション・サービスを開設しました。以来、資料検索ガイドンス（日英）や見学会、夏・冬休みを利用した子ども対象の一日体験図書館員や体験ツアー、文書展示など、数々の企画を実施し、国連資料の幅広い普及と情報発信的なライブラリー・サービスに努めています。

UNドキュメンテーション・サービスを上手に利用するための役立つ情報をご案内します。

国連資料検索ガイドンス

毎月、国連大学ライブラリーと共に、国連資料に関するガイドンスを実施しています。参加人数は毎回6、7人までとし、質疑応答を大切にしながら行っています。

内容は、「インターネット検索」と「国連文書に関する基礎知識とオフネット検索ツール」の2部構成。第1部では、UNBISNETやODSなどについて詳しくご紹介し、

第2部では、国連文書や出版物のドキュメント記号／番号や体系について、総会、安保理、経社理など、国連機関の相互関係をご理解いただくとともに、実際にさまざまな紙文書を手にしていただきながら、基礎

的なご案内をしています。

大学生や、国連、国際関係に関心をもつ皆様、研究機関、報道機関やNGO等々から、幅広いご参加をいただいています。2002年12月から、英語版ガイドンスも始めました。

○参加者の声

国連文書の整理体系と、文書の検索の仕方がわかり大変有意義でした。ガイドンスは少人数で行われるため、個別的に質問もでき、参加者の目的に合うように教えてくれます。今後は資料室内にある膨大な資料を効率よく閲覧することができそうです。（長尾翔さん、慶應大学）



見学会

大学生、大学院生を対象に、隔週のペースで、ライブラリーに所蔵する国連文書をご案内しています。ライブラリーのデータベース端末で、デモンストレーションを行い、参加者に検索を試していただきます。

ライブラリー利用に際して知っておくと便利な「ウラワザ」などもご紹介しています。時間は1時間程度。

○参加者の声

学校にはない図書や書類があるのがわかり、授業の課題に役立ちそうだと思いました。

（本間寿子さん、フェリス女学院）

インターネットでの資料検索の仕方がわかりました。調べるための視野が広がったように思います。今日、たくさんの資料を見せていただいて、自分が知らなかつた事柄に触れることができ、いい刺激になりました。

（高橋洋子さん、淑徳大学）

夏・冬休み一日図書館員

国連の専門図書館において、職員は実際にどのような仕事をしているのでしょうか。どのような本や文書が置いてあるのでしょうか。

UNドキュメンテーションサービスでは、夏・冬休みの期間中、ライブラリー業務を体験していただくべく、高校生の皆さんをお招きしています。職員やボランティアといっしょに、国連の本を手にとってみませんか。

ライブラリー探検ツアー

夏・冬休みに小・中学生をお招きし、ライブラリーに所蔵する国連発行の文書の探し方や調べ方を体験していただいています。時間は1時間程度です。夏休みは、親子でのご参加もありました。

所蔵資料内容



国連公文書

- 総会、安理会、経済社会理事会、信託統治理事会、国際司法裁判所の主要機関の議事録、報告書など。
- 地球サミット、世界女性会議などの世界会議報告書。
- 女子差別撤廃委員会などの条約機関報告書。
- 国連年鑑、軍縮年鑑、国際法委員会年報、総会・安理会等の索引、その他。



国連販売出版物

国連の活動・調査・条約・統計などの記録、情報について、一般を対象に販売される図書および逐次刊行物。



ボランティア募集

UN ドキュメンテーション・サービスでは、ボランティアを募集しています。内容はカウンター業務、電話対応、レファレンス・サービス、リサーチ、資料検索ガイドスや見学案内の手伝いです。期間は3ヶ月から半年以上、平日（月 - 金）、ほぼ毎日お手伝いいただける方。ご関心ある方は、履歴書を以下にご送付ください。

宛先 :〒150-0001 渋谷区神宮前5-53-70 国連大学ビル2階 UN ドキュメンテーション・サービス（ライブラリー内）担当：千葉まで

* UN ドキュメンテーションサービス・ボランティア希望（履歴書在中）と明記のこと。履歴書に、Email アドレスを記入してください。

『世界人口白書2002』が発行されました



国連人口基金(UNFPA)は2002年12月3日、「人々・貧困・広がる可能性」と題した『世界人口白書2002』を発表しました。白書は、開発途上国の貧困削減のためには、不十分なリプロダクティブ・ヘルスの実態に取り組み、女性が望まない妊娠をせずにすむように支援し、非識字とジェンダー（社会的・文化的差別）による差別を撤廃するための行動が早急に求められると警告しています。

『世界人口白書2002』によれば、人口に関する懸案事項に取り組むことは、ミレニアム開発目標(MDGs)の達成にとって欠かせないとしています。MDGsは世界の貧困および飢餓を2015年までに半減させ、妊産婦死と子どもの死亡を減少させ、ヒト免疫不全ウイルスおよび後天性免疫不全症候群(HIV／エイズ)を抑制し、ジェンダーの平等を促進させ、環境的に持続可能な開発を推進することを目指しています。

保健・教育への投資とジェンダーの平等は、このような効果を達成するうえで不可欠です。家族計画プログラムと人口分野の援助は、1972年から1994年までの世界の出生率の低下に貢献しました。このような社会的投资は、貧困削減に直接的な影響を与え、個人、とりわけ女性の能力を高め、選択を可能にします。

保健の向上を推進し、親が希望するだけの子どもを持つるようにし、出生率のさらなる低下を奨励し、よりよい教育と人生の選択を可能にするためには、社会投資がさらに必要です。この過程を通して、持続可能な開発の加速に必要な「人的資本」の蓄積を早めることができます。各国が2015年までに貧困を半減し、ミレニアム開発目標の実現を推進するためには、人口とリプロダクティブ・ヘルスに対して、政策決定者がさらに注意を向けることと、国際的支援が増加することが必要です。

『世界人口白書2002（日本語版）』をご希望の方は（財）家族計画国際協力財団（Tel: 03-3268-5875）へお問い合わせ下さい。

ノーベル平和賞受賞記念のレプリカが完成

国際連合とコфиー・アナン国連事務総長にノーベル平和賞が贈られたのは、1年前の2001年12月のことでした。国連で働く全ての職員に勇気を与えてくれたこの出来事を深く心に刻むため、国連は賞状と受賞理由をプリントしたポスター大のレプリカを作成しました。

東京・渋谷のUNハウスでも、レプリカのポスターを1階入口付近に設置しますので、UNギャラリーにお越しの際は是非ご覧ください。

ノーベル平和賞の実物のメダルと賞状は、ニューヨーク本部にある総会議場の入口で見ることができます。また、同本部のビジター・ロビーをはじめ、オランダ・ハーグの国際司法裁判所（ICJ）、タイ・バンコクのアジア太平洋経済社会委員会（ESCAP）など11カ所の国連機関では、ノーベル平和賞のレプリカが展示される予定です。



国連切手・UNメールからのお知らせ

UNギャラリー1階にある「国連切手・特設販売コーナー」では、各種の国連切手を取り扱っています。

このたび、「2001年ノーベル平和賞受賞記念・国連切手」がお求めやすくなりました。オーストリア・シリング、スイス・フラン、USドルによる3種類の切手シートのセットが、通常価格4,200円のところ2,400円でお買い求めいただけます。このほか、上記3通貨による切手各1枚のセット価格が200円となっています。

国連切手はUNギャラリー1階の特設販売コーナー、または(財)郵便文化振興協会(Tel: 03-3649-3591)で購入可能です。

なお国連広報センターでは、国連切手の取り扱いをお手伝いしてくださるボランティアの方を募集しています。詳しくは<http://www.unic.or.jp/fwork/volun.htm>へアクセスしてください。



100th Nobel Peace Prize

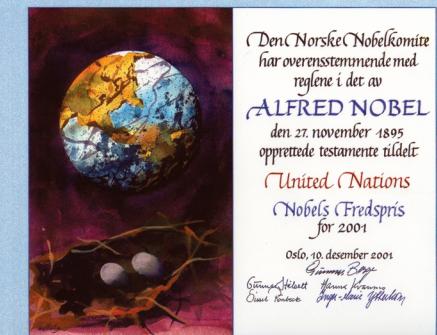
Awarded to the United Nations and
Secretary-General Kofi A. Annan,
10 December 2001

The Norwegian Nobel Committee has decided to award the Nobel Peace Prize for 2001, in two equal portions, to the United Nations (UN) and to its Secretary-General, Kofi Annan, for their work for a better organized and more peaceful world.

For one hundred years, the Norwegian Nobel Committee has sought to promote understanding between nations. At the end of the cold war has at last made it possible for the UN to perform more fully the part it was originally intended to play. Today the organization is at the forefront of efforts to achieve peace and security in the world, and of the international mobilization aimed at meeting the world's economic, social and environmental challenges.

Kofi Annan has devoted almost his entire working life to the UN. As Secretary-General, he has been particularly instrumental in bringing new life to the organization by redefining its role. In fulfilling the traditional responsibility for peace and security, he has also emphasized his obligations with regard to human rights. He has risen to such new challenges as HIV/AIDS and international terrorism, and brought about more efficient utilization of the UN's modest resources. In an organization that can hardly become more than its members permit, he has made clear that sovereignty cannot be a shield behind which member states conceal their policies.

The UN has in many ways achieved many successes, and suffered many setbacks. Through this first Peace Prize to the UN, as such, the Norwegian Nobel Committee wishes in its centenary year to proclaim that the only negotiable route to global peace and cooperation goes by way of the United Nations.



発行：国際連合広報センター

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-70 UNハウス 8階

TEL: 03-5467-4451

FAX: 03-5467-4455

URL: <http://www.unic.or.jp/> / E-mail: unic@untokyo.jp